

会 議 録

名 称	令和4年度第1回目黒区地域保健協議会
日 時	令和4年10月19日（水曜日） 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	めぐろ学校サポートセンター 4階 第一研修室
出席者	（委員）西脇会長、渡邊副会長、村上委員、寺田委員、幅田委員、近藤委員、七里委員、大室委員、橋本委員、宿野委員、小林泰良委員、小川委員、池田委員、百瀬委員、松原委員、小林雅子委員、篠崎委員、三柴委員、田丸委員、井上委員、新井委員、張替委員 （区側）石原健康推進部長、堀内健康推進課長、松下生活衛生課長、橘保健予防課長、滝川感染症対策課長、齋藤新型コロナ予防接種課長兼務碑文谷保健センター長
配付資料	◎ 令和4年度第1回目黒区地域保健協議会次第 資料1 目黒区の発生状況 資料2 オミクロン株対応ワクチン接種について 資料3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて 資料4 カンピロバクター食中毒について
会議次第	1 開 会 2 健康推進部長挨拶 3 新委員の紹介 4 区側出席者の紹介 5 議 事 （1）新型コロナウイルス感染症の区内発生状況について （2）オミクロン株対応ワクチン接種について （3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて （4）カンピロバクター食中毒について 6 その他 7 閉 会
会議の結果及び主な発言 1 開 会 2 健康推進部長挨拶 3 新委員の紹介 4 区側出席者の紹介 5 議 事 （1）新型コロナウイルス感染症の区内発生状況について 資料1により感染症対策課長が説明。 委員： この冬の新型コロナ感染症は、新しい株の出現など第8波が来て感染拡大はかなり大きなものになる可能性があり、インフルエンザの流行が重なれば医療提供体制に深刻な負荷がかかるおそれがあるとの報道がある。65歳以上の高齢者は受診できるといっても、中学生から64歳までの年代はどのようにしたらよいのか。区としてどのように対応していくつもりか。 区側： 直接対面で受診しなくても、オンライン診療という方法もある。基礎疾患がない重症化しない人は抗原検査キットで検査して、自宅で療養して医療機関が逼迫しないようにする必要がある。 感染症対策は区だけではなく国・都のレベルで対応するので、区は区としてできることに対応していく。 委員： 65歳未満等、公的支援を受けられない世代や、私のようにオンラインを使用していない場合はイン	

フルエンザの同時流行に対応できないのではないかと。

区側： 高齢者や重症化リスクのある人は、迷わず地域のかかりつけの医療機関を受診して欲しい。第7波では、食料品等の備蓄を呼びかけていたが、検査キットを自宅に備蓄することや、ワクチン接種についてもお願いしたい。検査キットは、インターネットでも手に入れられるようになっている。

会長： 地域の医療機関の医師会会長が出席しているのでお願いしたい。

委員： オンライン診療と言っても特殊なことではなく、電話もオンライン診療なので、まずは電話でこういう状態だと言っていただければ、医師からアドバイスできる。

委員： 東京都が配布する検査キットも個数の制限があり、濃厚接触のたびに使用していると足りない。

職場で濃厚接触になった人が抗原検査キットで検査した結果陰性であったが、その後 PCR 検査を行ったら陽性になったケースがある。抗原検査キットの結果を信用して出勤されたら周りに感染してしまう。医療用の検査キットが入手できるようにしてほしい。

委員： 抗原検査キットの感度にも限界がある。症状が出てから使用するもので、濃厚接触になったからといってすぐに使用しても正確な結果は出にくい。オミクロン株の場合、濃厚接触になってから平均 2.7 日以降に症状が出るが、症状が出る前からウイルスを出しているため、無症状の人からでも感染してしまう。感染者数が少ないからといって、感染力が低下しているわけではない。症状がないからと安心せず、きちんとマスクをして気を付けることが大切で、何かあれば病院に相談して欲しい。

会長： このような話があり、区民はとても安心できると思う。

(2) オミクロン株対応ワクチン接種について

資料2により新型コロナ予防接種課長が説明。

質疑なし

(3) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

資料3により保健予防課長が説明。

委員： 今回の資料は令和元年のデータで、年代・男女別は昨年の地域保健協議会で提出された自殺者とリンクしているのか？目黒区の傾向も若年層・女性が多いという理解で良いのか？

区側： 共通している部分もあるが、偏りはない。

(4) カンピロバクター食中毒について

資料4により生活衛生課長が説明。

質疑なし

6 その他

委員： 感染症対策室長の経歴がある。区に言うことではないが、医療従事者の間でも感染症に関する知識が不足している現状がある。日本の感染症対策に関する知識の弱体化があり、政府に考え直してもらわなければならない。

会長： 区だけでどうにかできるものではないと思うが、貴重な提言ありがとうございました。

7 閉会

区側： これで閉会とする。

以 上